

2022/6/12

(オマケの英語教室 manual) 書庫版



Manual といえば日本語でマニュアル (外来語)

純粋な日本語では手順、手順書。昔流に言えば手本。

それをかなり仕事場に限定して申しますと

「従業員遵守、行動用例要領集」

という感じでしょうか。

是を昨今の従業員気質から捉えますと

「要するにこの通りやっていたらいいんですよね？」

で、その裏には

「書いてある通りにやりました。でもそれ以外の事は知りませんよ。書いてない事迄できませんし、何かあっても書いてないそちらが悪いんですから」

という気持ちが見え隠れ。

それを世間が評して

「マニュアル人間」

と。

こういったマニュアル人間が増えますと、マニュアルを作る側も警戒して取り零しや突っ込まれ処がない様にあれもこれもと入り込み最後には取説本編前の注意警告文言の様にならずらと冗長になり下手をすると本編より長くなってしまう場合も出てきます。

早い話こういった場合の manual は決していい意味では取られておりません。

一言で申し上げますと

「主導権を人間側から奪い隷属又は形骸化させるもの (その反面責任回避の源)」

とでも申しましょうか。

一方話は変わって自動車にはオートマ車 (by automatic function operating car) とマニユア

ル操作車(by manual operating car)の二種類があります。

扱いとしては後者の方が免許取得時の難易度が上で、格式も高くなっております。

その格式が上位にある理由としては

「運転上の判断が全て操作者に委ねられ、操作者はその判断を下せるだけの自動車に関する知識と技量を有する者であるから」

という事なのでしょう。

此処での manual (手動操作) の位置づけは上述の manual (手順書) の位置づけとまるで正反対に

「主導権及び責任が人間側にある」

事になっております。

同じ manual という語なのに意味合いがまるで逆になっている。

ならばこの manual という語のそもそもの原義は何なのか？

それが気になりだしました。

手順書としての manual を別の英語で言えば guide。

受ける側からすれば「導かれるもの」で態としては passive (受動的)

一方手動操作としての manual は別の英語で言えば by one`s self own。

行う側からすれば「自発自力」で態としては active (能動的)

増々正反対。

さてどうしたものか？

で、ふと manual という字をよく見ると man + ual と見えました。

語幹が man

どういう事？

この語が出来たのは大昔。現代の思潮とは異なっていた筈。

ではその当時の思潮からみて symbol としての「男」はどんな意味を持ち役割を担っていたのか？

それでその時代の人間になった積りで考え、思いついた言葉が

Manual=「(長又は手本として自ら)先導する」

別の英語に置き換えると lead

それを行う人間が leader (リーダー)

となれば manual 車は self-leading でしょうし

Manual 本は leading guide に。

合っているかどうかは分かりません。

が、是なら合点がいきます。